

企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

2024

【北海道庁版】

- 企業版ふるさと納税
- 協働



CONTENTS

1 『ほっかいどう応援団会議』とは

2 企業版ふるさと納税制度の概要

3 官民連携の一層の推進に向けて

4 市町村の支援ニーズの『見える化』

5 企業版ふるさと納税の活用事例

5 交流人口・関係人口

5 総合政策部 自転車の利活用の推進

5 まちづくり

5 総合政策部 道内各地域における地域創生の推進

6 総合政策部 新千歳空港周辺の環境整備

6 自然・環境

6 総合政策部 北海道の水資源を未来につなぐ価値共創プロジェクト

6 環境生活部 野生動物（ヒグマ・エゾシカ）との共存

7 経 済 部 ゼロカーボン北海道の実現

7 水産林務部 藻場保全の推進

7 文化・スポーツ・歴史

7 総 務 部 赤れんが庁舎の改修

8 環境生活部 スポーツの振興

8 くらし・子育て・健康

8 環境生活部 動物愛護管理センターの運営

8 保健福祉部 エールを北の医療へ

9 保健福祉部 道民の健康づくりの推進

9 保健福祉部 こども・若者の支援

9 産業

10 農 政 部 野菜の生産振興

10 農 政 部 「北海道の砂糖」への支援

10 農 政 部 畜産分野における温室効果ガスの削減

11 農 政 部 酪農畜産経営の体質強化

11 農 政 部 道産食材の地産地消

11 水産林務部 木育の推進

12 水産林務部 道産水産物の海外販路拡大

12 人材育成・教育

12	総合政策部	若者の海外への挑戦に対する支援
13	教育庁	教育活動の支援
13	教育庁	部活動の地域連携・地域移行への支援
13	教育庁	教育環境整備の支援
14	教育庁	道立美術館等の美術品購入

14 協働事業の活用事例

15	総務部	災害発生時の応急対策活動や平常時の防災活動に関する協定締結
15	総務部	庁舎等道有施設等への広告掲出
16	総務部	道有財産の利活用
16	総務部	北方領土問題の啓発活動へのご協力
16	総合政策部	道政広報へのご協力
17	総合政策部	挑戦する若者の海外留学へのご協力
17	総合政策部	北海道遺産の普及啓発へのご協力
17	総合政策部	科学体験イベント「サイエンスパーク」へのご協力
18	総合政策部	北海道新幹線のPRへのご協力
18	環境生活部	民族共生象徴空間「ウポポイ」のPRへのご協力
18	環境生活部	ユネスコ世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPRへのご協力
19	環境生活部	「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」へのご登録
19	環境生活部	「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」へのご登録
19	環境生活部	「安全・安心どさんこ運動」へのご協力
20	環境生活部	「北海道フロンティアキッズ育成事業」へのご支援
20	保健福祉部	北海道の「子どもの居場所」支援へのご協力
20	保健福祉部	「どさんこ・子育て特典制度」へのご登録
21	保健福祉部	「ほっかいどう こどもまんなか応援サポーター」へのご参加
21	経済部	北海道ゼロチャレ！家計簿の活用に向けたご協力
21	経済部	北海道観光のPRへのご協力
22	経済部	「どさんこサポーターズ」へのご登録
22	経済部	北海道の立地優位性のPRへのご協力
22	経済部	地域の魅力を活かした観光地づくり推進へのご協力
23	農政部	愛食運動の推進へのご協力
23	農政部	「食育」や「食品ロス削減」の普及啓発へのご協力
23	水産林務部	道産水産物の魚食普及・消費拡大へのご協力
24	水産林務部	「とれてます！Oh！！さかなフェア」へのご協力
24	水産林務部	「北海道グリーンワーケーション」へのご参加
24	水産林務部	カーボン・オフセット「キキタの森（道有林）」間伐促進プロジェクトへのご協力
25	水産林務部	北海道植樹の日・育樹の日条例のPRへのご協力
25	建設部	北海道管理ダムのネーミングライツの募集
25	教育庁	子どもの体力向上に向けた取組へのご協力

- | | | |
|----|------------|------------------------------|
| 26 | 教 育 庁 | 企業の強みを生かした学校教育活動へのご協力 |
| 26 | 胆振総合振興局 | 「いぶり五大遺産」の活用による地域活性化 |
| 26 | オホーツク総合振興局 | 「オホーツク流氷トラスト運動・応援団」へのご参画とご協力 |

27 企業版ふるさと納税を活用した取組

- | | | |
|----|-------|-----------------|
| 28 | 総合政策部 | 自転車の利活用の推進 |
| 28 | 経 済 部 | ゼロカーボン北海道の実現 |
| 29 | 環境生活部 | 動物愛護センターの運営 |
| 29 | 保健福祉部 | エールを北の医療へ |
| 30 | 農 政 部 | 道産農産物の消費拡大 |
| 30 | 水産林務部 | 木育の推進 |
| 31 | 総合政策部 | ドローンの利活用促進 |
| 31 | 総合政策部 | 若者の海外への挑戦に対する支援 |

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。



『ほっかいどう応援団会議』とは

「ほっかいどう応援団会議」は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、民間の皆様の知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組むことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せる方々の取組や想いを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。



応援の受け皿

応援の見える化



官民連携のステップアップ



資金支援

- ・ふるさと納税
- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附・協賛



協働活動

- ・包括連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施



事業活動

- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR など

応援団会議参加数（R6.3月時点）

企業・団体	1,134団体
個人（道ファン子）	15,314 名

※個人の皆様は、「道産子」をもじって、「道ファン子」と呼んでいます



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

参加方法

参加にあたって費用負担はございません。是非ご参加ください。

企業・団体の皆様

詳細は道庁官民連携推進局へ
直接お問い合わせください!!

☎ 011-204-5158

📧 hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

- ポータルサイト等で、参加企業の皆様の応援実績などをご紹介します!
- 知事・市町村長がトップセールスを行う「ほっかいどう応援セミナー」を開催!

ほっかいどう応援団会議
ポータルサイトはこちら



個人の皆様

下記QRコードから簡単登録!!
是非ご登録ください!!



- 北海道の応援につながる様々な情報を発信!

公式
アカウント
はこちら



公式
アカウント
はこちら



企業版ふるさと納税制度の概要

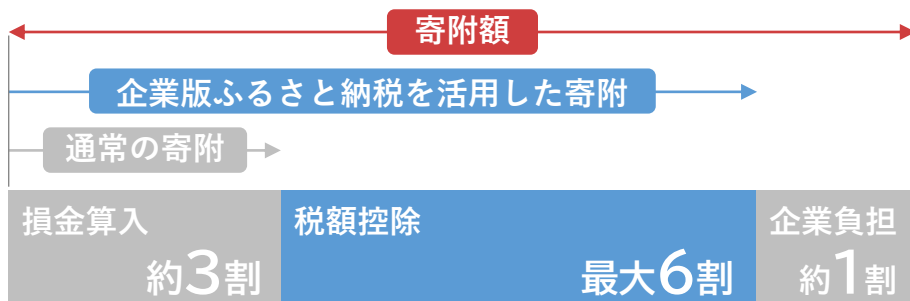
「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けることができる制度です。

企業の皆様にとっても大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、北海道の未来づくりに向けた取組をとともに進めましょう！！

POINT
01

税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



活用のチェックポイント

- 本社が所在する自治体への寄附は**対象外**
(本社が道内の企業は、道庁・所在市町村への寄附は対象外)
- 1回あたり**10万円以上**の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な見返りは**禁止**

POINT
02

「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

社会・地域貢献

- ・ SDGsの達成
- ・ ふるさと、被災地の復興等への支援 etc

事業展開

- ・ 企業のPRに
- ・ 新たなパートナーシップの構築
- ・ 社員のモチベーションアップ etc

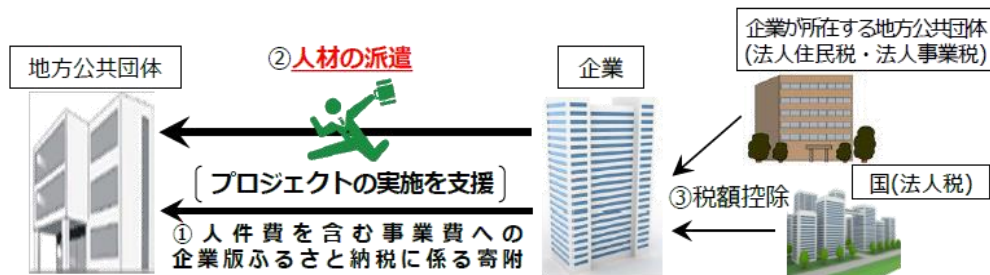
道では・・・

- 感謝状の贈呈のほか、ホームページ・啓発チラシ等で**企業名を紹介**

企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体に派遣する制度で、その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。

制度活用イメージ



企業のメリット

- ・ 人件費相当額を含む寄附額の最大約9割に税の軽減効果
- ・ 企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・ 人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・ 専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・ 人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・ 関係人口の創出・拡大

企業版ふるさと納税制度の詳細については、こちらをご確認ください

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/krs/tiikisousei-kigyouban-hurusatonouzei.html>



官民連携の一層の推進に向けて

官民交流サロン



企業、市町村、地域おこし協力隊の皆様が、
『つながり』『気軽に交流』していただくためのスペースです

1 交流 RECEPTION



応援団会議参加企業等との交流の場として



2 マッチング MATCHING



応援を呼びかける場として



3 ミーティング MEETING



日常的な打合せの場として



4 セミナー SEMINAR



イベント会場として



コンシェルジュ



Wi-Fi
free Wi-Fi



free drink

訪れた方に「気軽に交流」
していただくために

- 気軽に相談できる「コンシェルジュ」機能
- 打合せやセミナーを円滑にする「Free Wi-Fi」、「free drink」

応援団会議参加企業にもご協力いただいています！

UCHIDA

KOKUYO

pokka Sapporo
北海道

Coca-Cola
～北の大地とともに～
北海道コカ・コーラボトリング株式会社

よるこびがつく世界へ
KIRIN

NTT Communication

CROWN
OFFICE SYSTEMS



企業
の皆様と
共に
取り組む
プロジェクト 2024

分野ごとの**プロジェクト内容**はもちろん、
関連するSDG s の目標や
市町村の**問い合わせ先**も掲載

皆様からのエールが、
北海道の『チカラ』になります
ぜひご活用ください



こちらからご覧いただけます

企業版ふるさと納税の活用事例

企業の皆様から応援いただきたいプロジェクトをご紹介します。
関連するSDGsの目標やお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト

交流人口・関係人口

くらし・子育て・健康

まちづくり

産業

自然・環境

ICT・AI

文化・スポーツ・歴史

人材育成・教育

自転車の利活用の推進

【交流人口・関係人口】



取組内容

北海道では、誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できるよう「もっと、自転車北海道。」を推進しています。

環境負荷の低減や道民の健康増進、観光の振興に資する自転車のメリットの発信や道民が自転車に親しむ体験型イベントの実施など、「自転車の利活用」を推進する取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部地域創生局地域政策課

問合せ先

011-204-5795



道内各地域における地域創生の推進

【まちづくり】



取組内容

※寄附を充当する振興局や取組はご相談ください

北海道では、地域の特性を活かした個性ある地域づくりを推進するため、道内14の（総合）振興局が、民間事業者等と連携・協働のもと、地域に根ざした政策の実施に取り組んでいます。個性豊かで活力に満ち、人々が将来にわたり安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、振興局が実施する取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部地域創生局地域戦略課

問合せ先

011-204-5255





取組内容

道では、「新千歳空港」の国際拠点空港化に向け、空港所在市とともに24時間運用に関する取組を進めており、騒音等の影響を受けている周辺地域の皆様の負担軽減を図るため、生活環境等の整備などの地域振興に取り組んできました。

新千歳空港の24時間運用の円滑な推進に向け、空港と地域との共生に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部航空港湾局航空課

問合せ先

011-204-5956

北海道の水資源を未来につなぐ価値共創プロジェクト



取組内容

北海道のかけがえのない財産である水資源を着実に未来につないでいくため、「北海道水資源の保全に関する条例」に基づき、水資源保全地域を指定し、適正な土地取引を助言しています。豊かな水資源の恵みを将来の世代においても享受できるよう、当該地域内の民有地を市町村が買い取って保全する「公有地化」に取り組む市町村へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部計画局土地水対策課

問合せ先

011-204-5178

野生動物（ヒグマ・エゾシカ）との共存



取組内容

道では、北海道の豊かな自然の象徴であるヒグマや、近年、増加が著しいエゾシカとの共存を実現するため、被害防止対策や有効利用などに取り組んでいます。

ヒグマの生息実態調査や電気柵等による人里への出没防止対策、正しい知識を伝える普及啓発のほか、「安全安心」で「美味しい」エゾシカ肉のブランド化などの取組へのご支援をお願いします。

担当課

環境生活部自然環境局野生動物対策課

問合せ先

011-204-5288・5206



取組内容

道では、2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、再生可能エネルギーの導入加速化や省エネルギー推進等の施策を中長期的に展開するため、ゼロカーボン北海道推進基金を設置しました。地域が行うエネルギーの地産地消の取組、産業の振興や技術開発の促進、普及啓発、人材育成などの取組に活用させていただきますので、ご支援をお願いします。

担当課

経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課

問合せ先

011-206-7956



藻場保全の推進



取組内容

「ゼロカーボン北海道」への貢献と、藻場・干潟の整備や保全により水産資源の成育の場を創出するなど、より環境と調和した水産業の構築を目指して、新たなCO₂の吸収源として期待される「ブルーカーボン」に関する取組の推進へのご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先

011-204-5471



赤れんが庁舎の改修



取組内容

北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)は、重要文化財として国の指定を受けた北海道を代表する歴史的建造物ですが、昭和43年の復原工事から50年以上を経過し、劣化が著しく進行しています。先人から受け継いだ貴重な財産の歴史的価値を保存し、後世に伝えていくとともに、北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として利活用するための取組を進めています。赤れんが庁舎改修工事へのご支援をお願いします。

担当課

総務部イノベーション推進局財産課

問合せ先

011-204-5055





取組内容

道では、体力や年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりを進め、スポーツを通じて北海道を活性化するため各種施策を推進しています。障がい者スポーツの推進や理解促進、子ども向けスポーツ教室の開催に関する取組等へのご支援をお願いします。

担当課

環境生活部スポーツ局スポーツ振興課

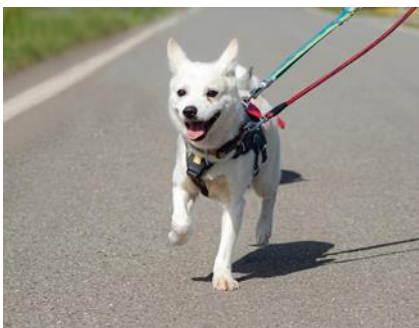
問合せ先

011-204-5209



動物愛護管理センターの運営

【くらし・子育て・健康】



取組内容

道では、令和5年度から動物愛護管理センターの運営を開始しました。動物の命を尊重し、人と動物が共生して暮らせる社会のため、動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発や新しい飼い主への譲渡など、センター運営の取組へのご支援をお願いします。

担当課

環境生活部自然環境局自然環境課

問合せ先

011-204-5987



エールを北の医療へ

【くらし・子育て・健康】



取組内容

新型コロナの医療に従事する方々への支援を目的とした寄附「エールを北の医療へ！」は5類移行に伴い、令和5年8月をもって募集を終了しました。多くの皆様のご支援に感謝申し上げます。引き続き本名称により、へき地医療や救急医療、周産期医療など、医療全般に活用させていただくため、寄附を募集しています。北海道の地域医療を守る取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部地域医療推進局地域医療課

問合せ先

011-204-5250





取組内容

道では、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、生活習慣病の予防や生活に必要な機能の維持向上、健康を支え守るための環境整備など、道民の健康増進を総合的に推進しています。

健康増進に関する正しい知識の普及や健康増進事業実施者に対する技術的援助、道民一人ひとりの健康的な生活習慣の確立と楽しい健康づくりの普及啓発などの取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部健康安全局地域保健課

問合せ先

011-204-5767



取組内容

道では、社会全体で子育てを支える「子ども応援社会」の実現に向けて、子どもたちが健やかに希望をもって成長できる環境づくりへの取組を進めています。

未来を担うこども・若者への支援を更に充実させていくため、豊かな自然環境など、北海道の特性を十分に活かした、こどもや若者の笑顔が輝くような取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

問合せ先

011-206-6309

甘さにうっとり!
さつまいも



取組内容

近年、気候が変動している中、道では道内で作付が拡大し、今後新たな戦略作物となる可能性のある作物として「さつまいも」の生産を振興しています。

これからも、北海道農業が元気に持続していけるよう、北海道の新たな戦略作物となる「さつまいも」の良質な苗の安定生産・供給、農作業の省力化、安定した集出荷体制づくりなどの取組にご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局農産振興課

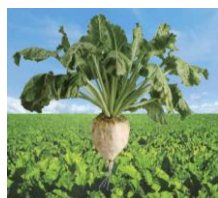
問合せ先

011-204-5436

「北海道の砂糖」への支援



たいせつな人に
「ありが糖」



取組内容

砂糖原料となる「てん菜」は国内では北海道だけで栽培されており、持続的な農地利用を実現する輪作に欠かせない作物です。

砂糖消費量の減少傾向が続く中、北海道のてん菜生産を維持していくため、食育活動とともに「北海道の砂糖」を使用した食品を学校給食に提供する取組などにご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局農産振興課

問合せ先

011-206-9080

畜産分野における温室効果ガスの削減



取組内容

道内の農林水産分野におけるG H G排出量のうち、家畜由来のG H G排出量の割合が高い状況にあることから、畜産分野における「再生可能エネルギーの導入推進」、「技術革新による新技術の導入」等の取組が重要です。

ゼロカーボン北海道の実現に資するため、畜産分野における温室効果ガスの削減に向けた取組にご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局畜産振興課

問合せ先

011-204-5440





取組内容

本道の酪農畜産産業を将来にわたって維持していくためには外的要因に影響されにくい、酪農畜産経営の体質強化が必要なことから、省力化機械の導入促進や飼養管理データを活用した経営の効率化に向けた講習会、酪農ヘルパー組合の優良事例や放牧酪農経営の調査・普及、経営改善に向けた経営診断・分析への支援などを実施しています。
酪農経営の体質強化に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局畜産振興課

問合せ先

011-204-5438

道産食材の地産地消



取組内容

道では、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」を推進しており、毎月第3土・日曜日を「愛食の日（どんどん食べよう道産DAY）」として、道民に道産食材の積極的な購入を働きかけるほか、輸入小麦から道産小麦への利用転換を進める「麦チェン!」の取組や、道内での栽培が拡大している「にんにく」「さつまいも」「らっかせい」を「新顔作物」として需要の拡大に取り組んでいます。地産地消の取組へのご協力をお願いします。

担当課

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

問合せ先

011-204-5432

木育の推進



取組内容

北海道で生まれた「木育（もくいく）」とは、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組であり、道では、木育を普及させる指導者である「木育マイスター」を育成し、木育活動の促進に取り組んでいます。森林づくりや木づかいへの理解を広げていけるよう、木育マイスターの活動へのご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先

011-204-5515



取組内容

中国による日本産水産物の輸入停止措置により、道産水産物の輸出は大きな影響を受けていることから、海外プロモーションや商談会の開催など、中国以外での道産水産物の販路拡大に向けた取組にご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局成長産業課

問合せ先

011-204-5465

ドローンの利活用促進

【ICT・AI】



取組内容

広大な面積を有し、人口減少下にある本道において、ドローンは、地域課題の解決や利便性の向上に寄与することが期待されています。北海道では、これまでワンストップ窓口の運営や積雪寒冷条件下での実証実験など、ドローンの利活用促進に取り組んでいます。また、令和6年には国と共催で「ドローンサミット」も開催します。物流や防災、医療、観光など利活用分野の更なる拡大に向け、取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部次世代社会戦略局DX推進課

問合せ先

011-204-5172

若者の海外への挑戦に対する支援

【人材育成・教育】



取組内容

少子高齢化が進む一方、急速なグローバル化が進展する北海道の未来に向けて、学生留学をはじめ、スポーツ指導者や若手芸術家、食やものづくりの職人など、意欲と能力のある若者の海外チャレンジを支援しています。将来の北海道に貢献する人材を育成するとともに、支援した若者の道内での活動を促進し、道内定着へつなげるため、取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部国際局国際課

問合せ先

011-206-7380



取組内容

北海道の次代を担う子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさと北海道を支えるたくましい人材へと成長できるよう、指定する北海道立学校の教育活動や、全ての道立学校を対象とした留学機会の確保に向けた取組へのご支援をお願いします。



担当課

教育庁学校教育局高校教育課

問合せ先

011-204-5762

部活動の地域連携・地域移行への支援

【人材育成・教育】



取組内容

少子化による生徒数の減少により、学校単位における部活動の維持が困難となっているため、中学校における部活動の地域クラブ活動への移行や地域との連携などに取り組んでいます。子どもたちが将来にわたって、スポーツや文化芸術活動に親しめる環境を整えるため、地域クラブ活動の運営などへのご支援をお願いします。



担当課

教育庁学校教育局部活動改革推進課

問合せ先

011-206-6067

教育環境整備の支援

【人材育成・教育】



取組内容

温暖化をはじめとする近年の気候変動や、AI技術の発達など、子どもたちを取り巻く教育環境の変化に対応するためには、校舎や設備等の学びの基盤を整備していく必要があります。空調設備をはじめとした教育環境改善へのご支援をお願いします。



担当課

教育庁総務政策局施設課

問合せ先

011-204-5710



ティファニー
《ランプ・きばなふじ》
(北海道立近代美術館蔵)



取組内容

北海道ゆかりの作家をはじめ、国内外の貴重な作品を継続的に収集し、道立美術館等のコレクションを充実させ、魅力ある展覧会の開催や教育活動での活用のほか、若手作家の育成にもつなげています。

今後もより多くの方に芸術文化に親しんでいただく機会を提供できるよう、ご支援をお願いします。

担当課

教育庁文化財・博物館課

問合せ先

011-204-5747

協働事業の活用事例

地域の課題解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。



災害発生時の応急対策活動や平常時の防災活動に関する協定締結

取組内容

道では、道内で地震、風水害その他の大規模災害、武力攻撃事態等が発生し、又は発生のおそれがある場合に、物資の供給、災害情報の提供などの応急対策を迅速かつ的確に実施するとともに、平常時からの協力関係により防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ることなどを目的として、道と防災に関する協力協定を締結していただける企業等を募集しています。

担当課 総務部危機対策局危機対策課

問合せ先 011-206-7804



庁舎等道有施設等への広告掲出

取組内容

道では、新たな財源を確保し、財政の健全化と行政サービスの向上に資することを目的として、本庁舎・別館庁舎の壁面等に民間事業者の広告を掲出しています。

職員は本庁舎で約3,600人、別館庁舎で約1,800人おり、銀行、郵便局、コンビニ、食堂等があり、多くの来庁者の方々にもご利用いただいています。お気軽にお問い合わせください。

担当課 総務部行政局財産課

問合せ先 011-204-5055



道有財産の利活用

取組内容

道において使用していない土地、または今後概ね1年以内において使用しなくなる土地を利活用いただける企業等を募集しています。

これまで、高校敷地を太陽光発電施設として貸付したり、建物を解体・宅地分譲を行い購入いただいた例などがあります。お気軽にお問い合わせください。

担当課 総務部行政局財産課

問合せ先 011-204-5056



北方領土問題の啓発活動へのご協力

取組内容

北方領土問題について多くの方に知っていただくため、「啓発ポスター・ステッカーの掲示」「啓発展示会場の提供」「啓発動画や画像のデジタルサイネージ等での発信」など、幅広い啓発活動にご協力いただける企業を募集しています。

担当課 総務部北方領土対策本部

問合せ先 011-204-5069



道政広報へのご協力

取組内容

北海道価値の発信、道政広報チラシ等の設置場所の提供、道政広報動画・静止画等の放映場所の提供、企業等が発行する印刷物・資料等への道政情報の掲載、また各種広報媒体を活用したプレゼント企画への物品の提供などにご協力いただける企業等を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

担当課 総合政策部知事室広報広聴課

問合せ先 011-204-5110



挑戦する若者の海外留学へのご協力

取組内容

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」は、北海道の将来を担う若者の海外挑戦をオール北海道で応援しています。学生留学、スポーツ、文化芸術、未来の匠の4コースを設けて、選考された若者の海外留学の資金を助成しています。若者達が未来へ挑戦するため、多くの皆様の支えが必要であり、取組のPR等にご協力いただける企業を募集しています。

担当課 総合政策部国際局国際課

問合せ先 011-206-7380



ほっかいどう
未来チャレンジ
基金



北海道遺産の普及啓発へのご協力

取組内容

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道遺産は、北海道の豊かな自然、歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加により現在74件が選ばれています。NPO法人北海道遺産協議会と連携した取組やPR活動へご協力などをいただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部地域創生局地域政策課

問合せ先 011-204-5795



(写真提供：NPO法人北海道遺産協議会)



科学体験イベント「サイエンスパーク」へのご協力

取組内容

北海道の未来を担う子どもたちに、科学技術に対する興味と理解を深めていただくため、科学体験イベント「サイエンスパーク」を開催しており、多くの企業等の皆様のご協力のもと、科学に関する展示や体験教室、オンラインコンテンツの公開などを毎年実施しています。出展にご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興課

問合せ先 011-206-6478



北海道新幹線のPRへのご協力

取組内容

北海道新幹線は、新青森から札幌まで約361kmに及ぶ路線です。2016年3月26日に北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）が開業しました。

北海道新幹線の利用促進及び来たる札幌開業に向けた気運醸成のため、北海道新幹線のPRにご協力をいただける企業等を募集しています。

担当課

総合政策部交通政策局交通企画課

問合せ先

011-204-5164



民族共生象徴空間「ウポポイ」のPRへのご協力

取組内容

2020年7月、北海道白老町にアイヌ文化の復興等の拠点となるウポポイ(民族共生象徴空間)が誕生しました。

ウポポイへの誘客促進や、北海道経済の活性化につなげるため、産学官民による「ウポポイ官民応援ネットワーク」を組織しており、企業の皆様にも広報ツールや商品パッケージなどでPRを行っていただいています。ご参加についてお願いします。

担当課

環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課

問合せ先

011-206-6024



ユネスコ世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPRへのご協力

取組内容

2021年7月に、ユネスコ世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力を広く発信するため、普及啓発に関する取組への支援や共同参画、広報資材やロゴマークを活用したPR活動へのご協力などをいただける企業等を募集しています。

担当課

環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室

問合せ先

011-204-5168



未来へつづく、一万年ストーリー。

北の縄文



「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」へのご登録

取組内容

道では、運転に不安を感じる高齢者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境づくりを行うため、「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」を実施しています。65歳以上の道民の方が、協賛店舗を利用する際に、「運転経歴証明書」を提示することで、様々なサービスを受けられる制度です。独自の割引やサービス等の提供が可能な企業の登録をお待ちしています。

担当課

環境生活部くらし安全局道民生活課

問合せ先

011-204-5219



協賛店ステッカー



キャラクター
「シカゾウ」



「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」へのご登録

取組内容

道では、女性、障がいのある人、性的マイノリティなど人権施策推進基本方針に掲げる12分野に関連する人権配慮の取組を行っている道内企業等を登録し、ホームページ等で取組や成果等を紹介する「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」の登録企業等を募集しています。

担当課

環境生活部くらし安全局道民生活課

問合せ先

011-206-6148



登録コーディネーターまで
お気軽にご連絡ください

登録いただくメリット

- ◆ 道から登録証が交付されます。
- ◆ 道ホームページ等で、登録企業等の取組や成果を紹介します。

SDGsなど人権への関心は高まっており、

企業価値の向上 人材の確保・育成

ビジネスチャンスの拡大

などにつながることを期待されます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「安全・安心どさんこ運動」へのご協力

取組内容

人や地域社会の絆を深めて、地域コミュニティを高めていくことによって、犯罪をなくしていく取組「安全・安心どさんこ運動」を実践し、ステッカーやどさんこバッジなどの作成支援等にご協力いただける企業等を募集しています。運動に参加していただいた企業等の取組はホームページ等で紹介させていただきます。ぜひご参加ください。

担当課

環境生活部くらし安全局道民生活課

問合せ先

011-206-6148



ステッカー



「北海道フロンティアキッズ育成事業」へのご支援

取組内容

道では、令和3年度より、（公財）北海道環境財団及び北海道教育庁との協働により、道内の小学生を対象にSDGsを活用した環境教育を実施しています。

本事業は協力企業・団体の皆様からの寄附金を原資として事業を行っており、事業費のご支援をいただける企業・団体を募集しています。

担当課

環境生活部環境保全局環境政策課

問合せ先

011-204-5187



北海道の「子どもの居場所」支援へのご協力

取組内容

子ども食堂や子どもの学習の場などの「子どもの居場所」の多くは、地域のボランティアやNPO団体によって運営されており、運営費や食材等のほとんどが寄附により賄われています。

北海道の子どもの居場所を守るため、皆様からの温かいご支援をぜひお寄せください。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課

問合せ先

011-206-6328



「どさんこ・子育て特典制度」へのご登録

取組内容

道では、社会全体で子育てを応援し、子育てしやすい環境づくりを推進するため、「どさんこ・子育て特典制度」に協賛いただける企業等を募集しています。妊婦さんや小学生以下のこどもがいる世帯が、「どさんこ・子育て特典カード」を提示することで、特典サービスを受けられるようにする取組です。独自の割引やサービス等のご提供をしていただける企業の登録をお待ちしています。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

問合せ先

011-206-6309



「ほっかいどう こどもまんなか応援サポーター」へのご参加

取組内容

こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションする皆様を「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます。

サポーターとして「こどもまんなか」の取組（例：施設に授乳室をつくった、イベントにこどもを招待した等）にご協力いただける企業等のご参加をお願いします。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課



問合せ先

011-206-6309

ほっかいどう
こどもまんなか
応援サポーター
宣言



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



北海道ゼロチャレ！家計簿の活用に向けたご協力

取組内容

道では、環境省と連携し、家庭におけるCO2排出量やエネルギー使用量等を可視化できるアプリを開発しました。自宅のエネルギー使用量、料金を入力すると、光熱費やCO2排出量等のグラフ化、類似世帯とのランキングが表示される機能があります。

ユーザー拡大、継続利用促進のため、商品やポイントなどのサービスの提供にご協力いただける企業等を募集しています。

担当課

経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン産業課



問合せ先

011-204-5190



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



北海道観光のPRへのご協力

取組内容

道では、旅するたびに新たな発見があるような観光地とするため、観光資源の磨き上げや、新たな魅力の掘り起こしなどに取り組むとともに、それらの魅力が広く伝わるよう、観光施策や道内市町村の観光のPR、外国人観光客に向けた観光情報の提供などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課

経済部観光局観光振興課



問合せ先

011-206-6596



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「どさんこサポーターズ」へのご登録

取組内容

北海道では、ものづくり産業の現場で工場見学や各種体験など、自ら積極的な取組を行っている企業が多数存在しています。

こうした社会貢献（地域経済貢献）に取り組んでいただいている企業の皆様を、ものづくり人材育成応援団「どさんこサポーターズ」として募集しています。

担当課 経済部労働政策局産業人材課

問合せ先 011-204-5098



どさんこサポーターズ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



北海道の立地優位性のPRへのご協力

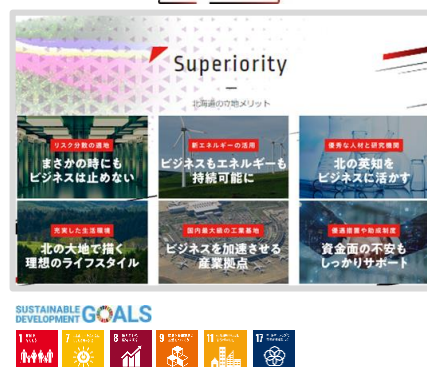
取組内容

北海道には自然災害の少なさや人材確保のしやすさに加え、恵まれた食や豊かな自然環境、豊富な再生可能エネルギーといった、立地優位性があります。

北海道への企業立地の促進に向け、北海道に関心のある企業への声かけや情報提供等のご支援をお願いします。

担当課 経済部産業振興局産業振興課

問合せ先 011-204-5324



地域の魅力を活かした観光地づくり推進へのご協力

取組内容

多様化する観光客ニーズに対応するため、地域の魅力を活かした観光地づくりを推進するため、観光協会等が実施する新たな商品づくり等の取組を支援し、地域のブランド力向上、観光消費額の拡大を通じ、地域経済の活性化を図ります。

担当課 経済部観光局観光振興課

問合せ先 011-204-5303



愛食運動の推進へのご協力

取組内容

道では、北海道産小麦を使用した商品を積極的に製造・販売しているお店を「麦チェンサポーター店」（道内）として認定しているほか、道産食材にこだわった料理を提供する飲食店・宿泊施設等を「北のめぐみ愛食レストラン」（道内）、「北海道愛食大使」（道外）として認定するなど、愛食運動を推進しています。各種イベントにおける道産農畜水産物のPR活動などへのご協力をいただける企業等を募集しています。

担当課

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課



問合せ先

011-204-5432



「食育」や「食品ロス削減」の普及啓発へのご協力

取組内容

道民向けに「食育」及び「食品ロス削減」の普及・啓発活動などへのご協力をいただける企業等を募集しています。

また、食品ロスの削減につながる取組を実施する食品関連事業者を「どさんこ食べきり協力店」として登録し、道HPで公表していますので、ご登録いただける企業等を募集しています。

担当課

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課



問合せ先

011-204-5427



道産水産物の魚食普及・消費拡大へのご協力

取組内容

道産水産物の魚食普及と消費拡大を進めるため、道が実施する普及啓発活動の場の提供や啓発資材の展示、料理レシピの普及、Webサイトによる周知などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課

水産林務部水産局水産経営課



問合せ先

011-204-5464



「とれてます!Oh!!さかなフェア」へのご協力

取組内容

道産水産物の需要拡大を進めるため、「とれてます!Oh!!さかなフェア」と題し、ブリ・マイワシ・ニシンのフェアを開催します。

フェアに参加する店舗のほか、公式Webサイト・SNSと相互フォローによる周知などにご協力いただける企業や観光情報サイト等を募集しています。

担当課 水産林務部水産局水産経営課

問合せ先 011-204-5464



「北海道グリーンワーケーション」へのご参加

取組内容

グリーンワーケーションとは、緑豊かな森林内で余暇を楽しみながら、木の温もりあふれるワークスペースで働く森林活用型のワーケーションです。

道内各地域の森林体験施設やワークスペース、宿泊施設などを紹介する「北海道グリーンワーケーションガイド」や、PR動画を公開しています。

担当課 水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先 011-204-5514



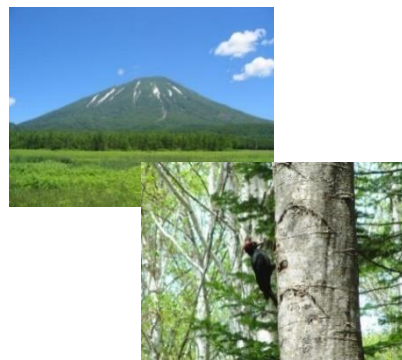
カーボン・オフセット「キキタの森（道有林）」間伐促進プロジェクトへのご協力

取組内容

道では、カーボン・オフセット（J-VER）の仕組みを活用し、道有林の整備により生み出されたCO₂吸収量を企業や団体等の皆様に購入していただくことを通じ、豊かな森林づくりと企業等のCSR活動を結びつけ、広く道民にPRしています。道有林のオフセット・クレジットを活用した協働プロジェクトなど、ご要望やアイデアがありましたらぜひご相談ください。

担当課 水産林務部森林海洋環境局道有林課

問合せ先 011-204-5519



北海道植樹の日・育樹の日条例のPRへのご協力

取組内容

道では、「北海道植樹の日・育樹の日条例」において、5月第2土曜日を「植樹の日」・10月第3土曜日を「育樹の日」、5月を「植樹月間」・10月を「育樹月間」と定めています。植樹・育樹への理解を深めていただくため、ポスターの掲示、社内誌等でのPR記事掲載、植樹・育樹の日等における植樹・育樹の実践など、ご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先 011-204-5514



北海道管理ダムのネーミングライツの募集

取組内容

道では、令和2年度から民間資金を活用した取組として、北海道が管理するダムのネーミングライツ事業を実施しており、令和6年度につきましても道管理ダムのネーミングライツスポンサーを募集しています。

担当課 建設部建設政策局維持管理防災課

問合せ先 011-204-5650



子どもの体力向上に向けた取組へのご協力

取組内容

本道の児童生徒の体力状況は、全国平均より低く、生涯にわたって充実した生活を送る基盤となる体力の向上が課題です。子ども達が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、地域や学校の実態に応じた効果的な体力向上の取組を推進しており、更なる取組の充実に向け、心身・体力向上のためのイベントの開催、充実した運動機会の提供などにご協力いただける企業を募集しています。

担当課 教育庁学校教育局健康・体育課

問合せ先 011-206-6818



企業の強みを生かした学校教育活動へのご協力

取組内容

子どもたちの学びの充実を図るため、小中学校、高校、特別支援学校の児童生徒に対し、SDGsの取組や、キャリア教育、金融教育、食育など、民間企業等の皆様の強みを活かした出前講座の実施や企業等の施設見学等の実施について協力いただける企業を募集しています。

担当課

教育庁総務政策局教育政策課

問合せ先

011-206-6354



「いぶり五大遺産」の活用による地域活性化

取組内容

世界的な価値を有する「洞爺湖有珠山ジオパーク」・「縄文遺跡群」・「アイヌ文化」・「むかわ竜」・「炭鉄港」を「いぶり五大遺産」として、一体的に魅力を発信しています。これらの地域資源を活用した誘客や担い手の確保など、関係人口の創出について、取組の提案をはじめとしたご協力をいただける企業等を募集しています。

担当課

胆振総合振興局地域創生部地域政策課

問合せ先

0143-24-9568



「オホーツク流氷トラスト運動・応援団」へのご参画とご協力

取組内容

地球温暖化の影響を受け、オホーツク海の大切な流氷が危機的状况にあるため、「流氷を守ろう！」を合言葉に、環境保全活動「オホーツク流氷トラスト運動」を展開してきました。さらに2023年10月には、地域が一体となり、持続可能な地域づくりを進めるネットワーク「オホーツク流氷トラスト応援団」を発足し、各種取組を推進しています。本応援団にご参画・ご協力いただける企業等の皆様の募集しています。

担当課

オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課

問合せ先

0152-67-5621



企業版ふるさと納税等を活用した取組

～ 企業の皆様から応援いただいた主なプロジェクトのご紹介 ～

事業概要

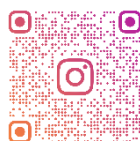
『もっと、自転車北海道。』の推進

環境負荷の低減や道民の健康増進、観光の振興に資する自転車のメリットの発信や道民が自転車に親しむ体験型イベントの実施など、誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できるよう「もっと、自転車北海道。」を推進しています。

事業成果

さらなる自転車ファンの獲得と環境整備

- 「もっと」自転車に親しみたい人が増加
体験フェアに5,141人が来場。もっと乗りたい方51%！
- 利用環境の整備促進
全道24箇所に休憩場所「サイクルオアシス」を整備
- 各地のイベントなど魅力発信
フォロワー2千人超のインスタコミュニティを形成



【公式Instagram】



サイクル体験フェア

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先

総合政策部地域創生局地域政策課

☎ 011-204-5795

✉ sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業

日本生命(相)、明治安田生命保険(相)※五十音順

道

寄附によってもたらされた効果

安全安心な利用環境の整備をはじめ、自転車保険の加入促進といった様々な取組を関係機関や企業・団体と緊密に連携しながら推進しています。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

道の目指す姿である「もっと、自転車北海道。」に賛同するとともに、業務分野との親近性も考慮して、寄附いたしました。自転車の利用促進に向け、官民一体となった取組に大きく期待しています。

ゼロカーボン北海道の実現

【自然・環境】

事業概要

『ゼロカーボン北海道』の推進

2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、再生可能エネルギーの導入加速化や省エネルギー推進等の施策を中長期的に展開するため、ゼロカーボン北海道推進基金を設置し、地域が行うエネルギーの地産地消の取組、技術開発の促進、普及啓発、人材育成などの取組を推進しています。



ZERO CARBON
HOKKAIDO

事業成果

本道における脱炭素化の取組の促進

- 多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化
- 豊富な再生可能エネルギーの最大限の活用
- 森林等による二酸化炭素吸収源の確保

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



寄附企業

鹿島建設(株)、五洋建設(株)、パークス・グループ(株)、大和証券(株)、東急不動産リート・マネジメント(株)、日本ハム(株)、日本郵船(株)、野村アセットマネジメント(株)、野村興産(株)、(株)パワーエックス、(株)阪急交通社、(株)ビックバイン、(株)三菱UFJ銀行、(株)Agoora、(株)D&Dホールディングス ※五十音順、アルファベット順

■お問合せ先

経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課

☎ 011-206-7956

✉ kikou.zerocarbon@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

脱炭素化に向けた行動変容を促すイベントの開催など、道民のライフスタイル・ビジネススタイルの転換につながる取組や自立分散型エネルギーシステムの導入支援など、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進しています。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

基金パンフレットを見て、環境と経済が好循環するゼロカーボン北海道の取組の趣旨に賛同し、寄附いたしました。地域貢献や企業PRにつながることを期待しています。

事業概要

人と動物が共生して暮らせる社会の実現

動物の命を尊重し、人と動物が共生して暮らせる社会を目指し、動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発や新しい飼い主への譲渡等の取組を充実させるため、道央地区に道直営の動物愛護センター開設し、令和6年度から道央、道南、道北、道東の4地区で動物愛護センターの運用を開始しています。



北海道動物愛護センター
あいにきた

事業成果

動物愛護の意識啓発やセンター開設・運営開始

- 道直営の動物愛護センターの施設整備
- 動物愛護及び適正な飼養に関する普及啓発
- 犬猫の新しい飼い主への譲渡

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



寄附企業

クラスメソッド(株)、(株)リクエストエージェンツなど
※五十音順

■お問合せ先
環境生活部自然環境局自然環境課
☎ 011-204-5987
✉ kansei.ainikita@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

動物愛護センターの施設整備のほか、飼い主探しや譲渡会、動物愛護イベントの開催など、動物愛護の取組を推進しています。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

動物の命を尊重し、人と動物が共生して暮らせる社会の実現を目指すという取組の趣旨に賛同し、寄附いたしました。動物愛護に関する普及啓発の推進など、今後の取組に期待しています。

エールを北の医療へ

【くらし・子育て・健康】

事業概要

医療従事者を支援し、地域医療を守る

新型コロナウイルス感染症の流行に際して、医療従事者の皆様には、日夜最前線で奮闘していただきました。今後も道民が安心して暮らしていけるよう、新たな感染症危機に備えた医療従事者向けの研修会の開催や医療用資機材の整備など、北海道の地域医療を守るための取組を進めています。



研修会の様子

事業成果

道内の感染症対応力が向上

- 各医療機関等において感染症対応力の向上につながる実践的な「感染症対応力向上研修」を開催
(14振興局で延べ16回開催、約1,100人が参加)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



寄附企業

(株)土谷製作所、東急不動産リート・マネジメント(株)、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、(公財)毎日新聞東京社会事業団 など ※五十音順

■お問合せ先
保健福祉部感染症対策局感染症対策課
☎ 011-206-0538
✉ covid.koufukin@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

医療従事者向けの実践的な研修会の開催により、初動対応のポイント、防護服の着脱方法、ゾーニングの考え方等、道内の感染症対応力の向上が図られました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

新型コロナウイルス感染症の医療に最前線で従事されてきた皆様への感謝と支援をお届けしたく、寄附をさせていただきました。引き続き、道民の皆様が安心して暮らせる取組を行っていただきたいです。

事業概要

道産食材の地産地消を推進する

道内での作付けが拡大しており、「新顔作物」として道が普及を後押ししている「にんにく」「さつまいも」「らっかせい」について、今後、更に生産を増やしていくためには、道民の認知度向上と需要の拡大が必要となっています。そのため、若手職員が中心となり、民間企業とも連携しながら「新顔作物」のPR活動に取り組んでいます。

事業成果

新顔作物の認知度が向上

- ビアガーデン会場で新顔作物メニューを提供
- 他の応援団会議参画企業とも連携し、道内6企業の食堂において、新顔作物のPRイベントを実施
- 新顔作物の認知度や食味の評価についてのアンケートを実施し、今後の施策展開に向けたデータを収集
- 新顔作物のPRソングや動画を作成

寄附企業

麒麟麦酒(株)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ お問合せ先
農政部農政課
☎ 011-204-5375
✉ nosei@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

「新顔作物」の需要拡大に向け、企業と連携しながら様々な機会を通じてPRに取り組み、消費者の認知度向上につながりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

「北海道の水で作った、北海道のビールを、北海道で飲んで、北海道へ還元」という思いで、令和3年から「北海道応援缶」を数量限定で販売。売上1本につき1円を地産地消の取組に寄附しています。

木育の推進

【産業】

事業概要

木育マイスターの活動を支援

道では、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組である「木育（もくいく）」を道民運動として展開するため、企業等と連携し、木育を普及させる指導者である「木育マイスター」が行う活動を支援し、木育活動の促進に取り組んでいます。

事業成果

森林づくりや道産木材利用への理解が促進

- 木育マイスターが企画した森林づくりをはじめとした木育イベントなどの活動を支援
(全道6箇所、延べ1,241人が参加)

寄附企業

明和地所(株)



ツリーイング

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ お問合せ先
水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課
☎ 011-204-5515
✉ suirin.katsuyo2@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

木育マイスターの活動機会が増え、多くの道民の皆様に木育を体験していただいたことで、森林づくりや道産木材の利用への理解促進につながりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

木育の趣旨に賛同し、道内で実施される木育マイスターの活動支援のため、令和2年度から道へ寄附しています。

事業概要

ドローンによる地域課題解決の推進

広大な面積を有し、人口減少下にある本道において、ドローンは、地域課題の解決や利便性の向上に寄与することが期待されています。北海道では、これまでワンストップ窓口の運営や積雪寒冷条件下での実証実験など、ドローンの利活用促進に取り組んでいます。物流や防災、医療、観光など利活用分野の更なる拡大に向け、取り組んでいきます。

事業成果

様々な分野におけるドローン利活用の普及

- 1台のドローンを多目的で活用するマルチユースの可能性調査・実証を行い、成果をハンドブックとして整理
- 北海道らしい新たな観光分野での活用可能性調査・実証を行い、成果をハンドブックとして整理

寄附企業

フェイス・ワン(株)

マルチユース実証：積雪量の推計



観光の実証：スキースキーの追従撮影

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先

総合政策部次世代社会戦略局DX推進課

☎ 011-204-5172

✉ sogo.joho1@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

事業を通じてドローンの新たな活用策を提示することで、様々な分野での導入・新サービスの造成を促し、「DRONE FIELD HOKKAIDO」としての可能性を道内外の企業にPRすることができました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

自社業務に関連のあるドローンの更なる活用と普及を期待して取組に寄附いたしました。寄附をきっかけに道内自治体との連携（新十津川町パノラマツアーハザードマップの作成）に発展しています。

若者の海外への挑戦に対する支援

【人材育成・教育】

事業概要

ほっかいどう未来チャレンジ基金

少子高齢化が進む一方、急速なグローバル化が進展する北海道の未来に向けて、学生留学をはじめ、スポーツ指導者や若手芸術家、食やものづくりの職人など、意欲と能力のある若者の海外チャレンジを支援しています。

将来の北海道に貢献する人材を育成するとともに、支援した若者の道内での活動を促進し、道内定着へつなげていきます。

事業成果

未来を担うグローバル人材を育成

- これまでに41名の若者の海外留学を支援
- 留学の成果発表などを通じた地域社会への還元
- 帰国者の活躍による地域社会の活性化

寄附企業

アクサ生命保険(株)、(株)アドアニモ、第一生命(株)、大成建設(株)、大王製紙(株)、日本ハム(株)、東日本電信電話(株)、(株)日立製作所、ピクテ・ジャパン(株)、(株)メディアウィズ、ARINA(株)、(株)AZWAY、(株)5core、(株)Liam など
※五十音順、アルファベット順



海外での研修の様子（未来の匠コース）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先

総合政策部国際局国際課

☎ 011-206-7380

✉ mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

昨年度は、学生留学分野2名・スポーツ分野3名・文化芸術分野3名の計8名の若者が海外に飛び立ちました。こうした留学生たちの活動などを「みらチャレ通信」として定期的に発信しています。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

地域の人材育成に貢献できることやポスターやHPに企業名を掲示することで、学生や教育機関、関連団体に社会貢献を通じた企業のPR効果を期待して寄附させていただきました。



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト【北海道庁版】（令和 6（2024）年 4 月）

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
電話 011-204-5158